

日本語学習者のとりたて表現

中西 久実子

1. この論文の主張

この論文では、日本語学習者（以下、学習者）がとりたて表現をどう使っているかという使用実態とその習得の特徴を明らかにする。対象とするとりたて表現は、「だけ」「しか」「ばかり」など「限定」を表すとりたて助詞、「さえ」「まで」「でも」など「極端」を表すとりたて助詞、「も」など「類似」を表すとりたて助詞、「でも」「なんか」など「反限定（例示）」を表すとりたて助詞、「なんか」「ぐらい」など「反極端（普通）」を表すとりたて助詞、そして、「は」など「反類似（対比）」を表すとりたて助詞である。

この論文では、次の(1)～(5)のことを主張する。

- (1) 学習者がもっともよく使うとりたて助詞は、類似を表す「も」と限定を表す「だけ」であり、日本語母語話者（以下、母語話者）も同じである。
- (2) 学習者は、「夕食はパンだけだ」など「名詞+だけだ」を多用する。これに対して、母語話者は「ただ走っているだけだ」など「動詞+だけだ」を多用する。
- (3) 学習者が多用する「名詞+だけだ」は、「この本は1000円だけだ」など数量語に付いて不自然と判断されるものが多い。
- (4) 学習者が多用する不自然な「名詞+だけだ」は、「かれは係長だけだ」など主語の性質を規定する名詞に「だけだ」が付

くこともある。

- (5) 学習者のとりたて助詞の習得には以下のような問題がある。
- a. 「だけ」「しか」など似た意味のとりたて助詞を混同する。
 - b. 不必要なとりたて助詞を使用する。
 - c. とりたて助詞が必要なところで使用できていない。
 - d. とりたて助詞の位置が不適切である。

2. 学習者によるとりたて助詞の使用実態

2. では、学習者がとりたて助詞をどう使用しているかという実態を、学習者の日本語能力や母語などの観点から概観する。そして、学習者をもっともよく使うとりたて助詞は何かを明らかにする。

2.1 先行研究の問題点

現代日本語のとりたて助詞は、寺村秀夫（1991）、沼田善子（2000, 2009）、高橋太郎(他)（2005）、澤田美恵子（2007）、日本語記述文法研究会（2009）などで体系的な記述がなされているが、学習者がとりたて助詞をどう使用しているかという実態は明らかではなかった。

学習者によるとりたて助詞の使用実態については、中西久実子（2008, 2010, 2012）においてもコーパスを用いて調査がなされているが、学習者のとりたて助詞の使用実態とその習得上の問題に焦点を当てた分析にはなっていない。

2.2 とりたて助詞の使用と学習者の日本語能力・母語との関係

中西久実子（2008, 2010, 2012）によると、書きことば・話しことばにおいて学習者が用いるとりたて助詞は、母語話者とほぼ同数でさほど違いがないという。下に示す表1は、学習者の会話データを集めた KY コーパスにおいて学習者が使用したとりたて表現の数をデータ 100,000 字あたりの使用頻度（個）で表したものである。表1から次の2つのことがわかる。

第1に、初級の学習者はとりたて助詞の使用頻度が低いが、中級、上

級、超級になるにつれて、使用頻度が高くなる。

第2に、とりたて助詞の使用頻度は、中国語を母語とする学習者がもっとも高く、次いで韓国語を母語とする学習者、英語を母語とする学習者がもっとも低いという傾向がある。

表1 KY コーパスにおける学習者のとりたて助詞の使用頻度

学習者の母語	初級	中級	上級	超級	平均
中国語	1.3	2.9	3.6	5.5	3.7
英語	0.9	1.9	3.3	4.0	2.9
韓国語	1.7	2.2	3.9	4.3	3.4
平均	1.3	2.4	3.7	4.6	

2.3 学習者がもっともよく使うとりたて助詞

中西 (2008, 2010, 2012) によると、学習者がもっともよく使用するとりたて助詞は、(6)(7)のような「も」と「だけ」であり、母語話者と同様であるという。特に、(6)のような類似の「も」は、母語話者も学習者も使用頻度が高くなる。

(6) 「ほかには、ちゅっか料理も、作ります。」(KY コーパス (中国語話者, 初級-上, CNH01))

(7) J 「あーそうですか。(L 「はい」) あの一、ここから近いですか。」

L 「ここから、はい。あー、あー／ごぶん、5 分くらい、ぐらい、だけです。」

(インタビュー形式による日本語会話データベース (韓国語話者, 上級-下, NS), 以下, 「J」は母語話者の発話で, 「L」は学習者の発話であることを示す)

3. 母語話者と異なる学習者のとりたて助詞の使用の特徴

3. では、学習者は「名詞+だけだ」を多用するということが、母語話者と異なることを指摘する。母語話者は「動詞+だけだ」を多用する。

3.1 母語話者が多用する「動詞+だけだ」

中西久実子 (2008, 2010, 2012) によると, 母語話者は述語に「だけだ」を接続する「動詞+だけだ」を多用するという。「動詞+だけだ」とは, 動詞述語に「だけだ」を接続する(8)(9)のようなものである。

- (8) 「何でもありません。叫び声を上げたくなっただけです。
(藤田宜永『転々』)
- (9) 「彼らは迂回することを知らず, 一直線に泳ぐ。対岸をめざしているのではない。新しい土地を求めているのではない。ただ発作的に走っているだけ。」(開高健『パニック』)

3.2 学習者が多用する「名詞+だけだ」

中西久実子 (2008, 2010, 2012) でも指摘されているとおり, 学習者は, 「名詞+だけだ」を多用する点で母語話者との違いが顕著である。学習者は(10)のように名詞に直接「だけ」を接続する傾向がみられる。また, 「だけだ」は(10)のように「だ」が省略されて「だけ」のみになることがある。

- (10) 「夕ご飯は, 牛乳と, パンだけ。」(KY コーパス (韓国語話者, 中級-上, KIH01))

(11)も学習者が用いた「名詞+だけだ」の例であるが, この「びんだけです」は「びんにはソースの名前を書いたラベルがない」という意味で用いられており, 不自然である。

- (11) J「はーあーあーあー, で味は」
L「あーあと, ソース, やきそばソース, と思います, (J {笑い} 「んー」) んーわたしのへやで, あの一, ソースがあります, けど, 名前, は, レイベル, は」
J「ん」
L「あの」
J「レイベル」
L「はい, あの一, えーっと, ボトル, あーびんだけです, (J「うんうん」) 名前が, ないです, (J「うーん」) そし

て、名前わか、わかりません、でもみんなが、おっソース、このソース、やきそばソー、やきそばソース、(J「んーんーんー」) そしてみなが使います【正用 ソースのびんにはラベルがありません】(KY コーパス (英語話者, 中級-下, EIL05))

学習者は「動詞+だけだ」より「名詞+だけだ」のほうを好んで使用する傾向が強い。たとえば、(12)では、述部「散歩に行きます」をわざわざ名詞相当の指示語「それ」で指して「それだけ」としている。

(12) 「授業が終わってから、あん、あー、あの一毎週3回、あん、テニス、クラブがあるので、テニスに行きます、でも、テニス、以外、ときは、散歩、行きます、それだけ、です」【正用 散歩に行くだけです】(KY コーパス (英語話者, 中級-下, EIL05))

学習者は「動詞+だけだ」を回避して「名詞+だけだ」のほうを多用する傾向がある。「動詞+だけだ」は(13)に示すように誤用になりやすいためであろう。

(13) 「5時から、わたしは、スーパーに、行くつもりです、あの、そこで、うん、材料、あ、うん大丈夫、あの、でも、ビールを、かいてください、はい、だけ」【正用 ビールだけ買ってください】(KY コーパス (英語話者, 中級-下, EIL02))

次の(14)は、動詞「聞く」をわざわざ「の」で名詞化してから「だけだ」を付けて不自然になっている例である。

(14) L「あー、わたしが、たい学一時代に、あ授業を受けると、受かった時は受けた時は、あー、ふちゅう、あ先生が、講義して、学生達は、んーみんな、講義を、んー聞く、のだけです、今の授業は、ん、みなさんと、はなし、たり、質問したり、は、(J「うーん」) わたしは、あーこれが、いいだと思ひます。【正用 講義を聞くだけです】(KY コーパス (韓国語話者, 中級-中, KIM02))」

4. 学習者が多用する不自然な「名詞+だけだ」

4. では、学習者が多用する「名詞+だけだ」について、数量語に付く「だけだ」が多いことを指摘し、なぜ「数量語+だけだ」が不自然になりやすいのかという原因を明らかにする。

4.1 数量語に付くことが多い不自然な「名詞+だけだ」

学習者のとりたて助詞の使用実態でもっとも特徴的なことは不自然な「名詞+だけだ」が多いということである。「名詞+だけだ」には、(15)の「1本」、(16)の「3年」、(17)の「1000円」など量を表す数量語に接続する「だけだ」も含まれる。

(15) 朝食はバナナ1本だけだ。

(16) 滞在期間は3年だけだ。

(17) 所持金は1000円だけだ。

学習者は、(18)の「3年生」、(19)の「1000円」のような数量語に「だけ」を接続して「だけだ」が不自然と判断されることが多い。

(18) J「じゃ、なにか日本語について研究してるとか。」

L「今は、3年生だけ、だから、研究って今までしてないんだけど、専門分野は、言語学なんです。【正用 まだ3年生(です)】」(インタビュー形式による日本語会話データベース(デンマーク語話者、中級・中, NJ))

(19) L「(髪を切ったという話題)その日はカットが一、あの、1000円だけでした、(J「うん」)あのほんとに、悪い所でした、だめ」【正用 カットがたったの1000円でした】(KY コーパス(英語話者、上級-上, EAH03))

(18)(19)のような例を修正するには、(20)のように「だけ」を削除するか、あるいは、(21)のように「たったの」のような副詞などによる連体修飾表現を用いなければならない。

(20) (カットの料金は)1000円でした。

(21) (カットの料金は) たったの1000円でした。

4.2 学習者が多用する不自然な「数量語+だけだ」の原因

(18)(19)の「だけだ」が不自然と判断されるのは、数量語「3年生」「1000円」の解釈に関係がある。蔡薰婕 (2017:22)によると、数量語の解釈には2種類あるという。(22)の「7km」のような数量語を例に言えば、「一つは「7km」を「スケール上の幅」とする考え方である。つまり「7km」を前述のプロセスが完了される際の開始限界点「0km」から終了時までの「幅」だと考える。もう一つは「7km」が終了限界点そのものだとする考え方である。(蔡薰婕 (2017:22))」。

(22) 太郎が 7km 歩いた。(数の表現)

森本順子 (1992:48) は同様のことを「量と質」で説明している。森本は、個数を表すものを量による規定、そうではないものを質による規定として、「「だけです」の用法の特徴は、量による規定をおこなうが、質による規定とは相入れない」と指摘している。そして、「だけだ」は「1本」「3年」など個数など量による規定を表す名詞にしか接続できないことを指摘している。さらに、数量語だけでなく、(23)の「係長」のような主語の性質を規定する名詞に「だけだ」を付けた場合も「名詞+だけだ」が不自然になることも指摘されている。

(23) *かれは係長だけです。(森本 (1992:46))

4.3 学習者が使用できない「[名詞+な]+だけだ」

(23)のように主語の質を規定する名詞に直接「だけだ」を付ける「名詞+だけだ」は不自然と判断されやすい。主語の質を規定する名詞に接続する場合は、名詞に「だ」を付けた名詞述語に「だけだ」を付けて「[名詞+な]+だけだ」としなければならない。たとえば、(24)のように「名詞」に「だ」が付いて述語なれば、その名詞述語「名詞だ」にさらに「だけだ」を付けて「[名詞+な]+だけだ」となり、許容されることがある。

(24) 老齢と病弱を言い立てて、司祭は弥撒を自分でおこなうことはめったになく、助祭が代行していた。実際は、司祭は飲んだくれで怠け者なだけだ。(皆川博子『冬の旅人』)

(24)のような「[名詞+な] +ただけだ」は、形容詞的に質による規定を表す名詞述語に接続しているが、母語話者はこのような「なだけだ」を使用するが、学習者は使用しない。

水谷信子 (1985 : 191) は、学習者は使って誤る「誤用」よりは用いない傾向があるとしてこれを「非用」と呼んでいる。そして、学習者には「非用」といえるあやまりが多い」と指摘している。

これに対して、中西久実子 (2006)、野田尚史 (2007) では、学習者がとりたて助詞を使うべきところなのに使っていないという「不使用」の問題が指摘されている。

4.4 学習者が使用できない「形容詞+ただけだ」

母語話者は、(25)のような「ナ形容詞+ただけだ」を使用するが、学習者は使用しないという不使用の問題がある。ナ形容詞は「だ」を連体形「な」に変えてから「ただけだ」を付けなければならない。

- (25) 「死にたいっていうんなら死なせてあげればいいじゃないか」と言うかもしれません。「植物状態で生かしても、本人も家族も不幸なだけだ。早くケリをつけたほうがいい」と言うのは簡単です。(養老孟司『死の壁』)

5. 学習者のとりたて助詞の習得上の問題

5. では、学習者のとりたて助詞の習得上の問題として以下の4つを示す。

- (26) 学習者のとりたて助詞の習得には以下のような問題がある。
- 「だけ」「しか」など似た意味のとりたて助詞を混同する。
 - 不必要なとりたて助詞を使用する。
 - とりたて助詞が必要なところで使用できていない。
 - とりたて助詞の位置が不適切である。

5.1 似た意味のとりたて助詞を混同する

とりたて助詞「だけ」と「しか」は互いに意味が似ている類義表現で

ある。しかし、両者は使い分けがなされており、寺村秀夫 (1991:165) で指摘されているとおり、「しか」は「X 以外のものは P でない」ということを強調する否定的文脈で用いられる。他方、「だけ」は「X 以外のものを除いて、X が唯一の P である」という肯定的文脈で用いられる。

学習者は、(27)のように「しか」を用いるべき箇所で「だけ」を使用して誤用になることが多い。(27)のような否定的文脈では「しか」を用いなければならないからである。否定的文脈で「だけ」を用いる誤用は母語からの負の転移が原因であることが多い。たとえば、(27)を用いた学習者の母語 (デンマーク語) では「だけ」と「しか」の区別がなく、一語で表されているので、日本語で「だけ」を用いる誤用になりやすい。

(27) J「ああ、それで、それが一回目ですね、(L「そう」)二回目はいつ。」

L「二回目は、(J「うん」)二年前に、(J「うん」)でもその時は、三週間だけ、(J「ふーん」)日本にいましたから。(J「旅行一みたいな」)旅行、はい。」【正用 三週間しか日本にいませんでしたから】(インタビュー形式による日本語会話データベース、デンマーク語話者、中級-下、NH)

しかし、(28)のように学習者の日本語がまだ不完全な段階にある中間言語では、母語にかかわらず「だけ」と「しか」の混用が起きやすい。たとえば、(27)の学習者の母語 (韓国語) では日本語と同様に「だけ」と「しか」の使い分けがあるにもかかわらず、誤用が起きている。

(28) J「あー、キッチンやトイレは、(L「はい」)ほかの人と一緒に使うんですね。」

L「はいはいはい。」

J「ふーんなるほど、はい、不便じゃないですか、ほかの人と一緒に使って。」

L「あーいいえ {笑い}、ん女の人だけ一住んでいますから、(J「うん」)たいじょぶです、【正用 女の人しか住んでいませんから大丈夫です】(KY コーパス (韓国語話者、中級-下、KIL02))

(29)の「だけ」も「しか」と修正すべきである。

(29) J「あーそうですか、しご仕事は何をしていますか。」

L「あの一英語を教えて」

J「そうですか、長岡市で、教えていた時と東京で今教えているのと、あの一どう違うんですか。」

L「あの一長岡であの一、あ一、会社、会社で、私のクラスだけがあった、(J「はい」) えっと今、東京であ一、いろいろクラスがあったそれも、あの会社、ごめんね、会社であ一、行きたいんです、(J「あーそうですか」) だから、あの一、あ一、長岡で、あ一クラスの中に、あ一、ポスターが (J「えー」) あったそれもあ一沢山さしえがある、(J「えー」) でも一東京でないです、(J「あーそうですか、うん一」) だから、そのこと、長岡で、楽しかったでも、東京に楽しくする」【**正用 私のクラスしかなかった**】(KY コーパス (中国語話者、中級-中、EIM06))

5.2 不必要なとりたて助詞を使用する

学習者はとりたて助詞が必要ないのに使用して不自然と判断されることがある。

たとえば、(30)の「も」は不自然であり、この文脈では必要ない。(30)の「も」の誤用の原因は学習者の母語 (中国語) からの影響だと考えられる。時刻を過ぎたことを表すには日本語では副詞「もう」を使うが、中国語では、「もうこんな段階だ」という超過を表す形式「都」をつけて「都八点」と表現するからであろう。

(30) L 「今、今えーそうですねーもう、(J「あ」) 8時、7時ぐらいになりましたね、(J「あーそうですか」) 今まだわたしたち遊んでいます、(J「あーそうですか」) はい。」

J 「えーと、なにちゃんですか。」

L 「あ、えーっと、ゆみちゃんです。」

J 「ゆみちゃんですね、(L「はい」)

L 「はい、あ、もう 8 時にもなり、なつたんですかー、で、大丈夫ですかーこんな遅くまで、あの一、ここにいて、お母さんは、心配一、なさいませんか。」【正用 もう 8 時になつたんですかー】(KY コーパス (中国語話者, 超級, CS02))

(31)も同様に「程度を超えてしまっている」ということを表すために「も」を付けて不自然になっている例である。

(31) L 「でも、ま私は日本へ来る前にスウェーデンで2年間生活したん (J 「あーはーはーはー) ですから、スウェーデンでは、消費税が 25 パーセントもありますから、(J [へー]) 日本では、低いですよそれと比べると、(J [んーふんふんふん]) んー、(J 「んー) だから、5パーテン、5パーセントにも上げても一そんなに高くはないと思いますよ。」【正用 5パーセントに上げても】(KY コーパス (中国語話者, 上級-上, CAH04))

(32)の「だけ」も不要であり、「電話をかけています」と答えるだけで十分である。

(32) J 「お母さんには手紙を書きますか電話をかけますか。」

L 「うんー、電話一だけ、かけています {笑い}」

J 「あーそう、どんな話をしますか。」【正用 電話をかけた】(KY コーパス (韓国語話者, 中級-中, KIM06))

(33)の「だけ」も使う必要がないのに用いられているとりたて助詞である。「だけ」は数量語に付けると「少ない」「不足している」というニュアンスになるため、(33)の場面では使用すると失礼になる。

(33) L 「あの一先生は、(J 「ええ」)あの岡山へ来て一、(J 「ええ」)なんねんですか。」

J 「えー、1年半です。」

L 「1年半だけ。」(J 「はい、はい。」) 以前は一、以前は一、(J 「ええ」) どこで一勤めて一、いましたか。

J 「えー京都、に、で働いていました。」【正用 1年半です】

5.3 とりたて助詞が必要なところで使用できていない (不使用)

学習者はとりたて助詞が必要なところなのに使用せず不自然と判断されるという不使用の問題がある。たとえば, (34)の下線部「肉肉肉」は「肉ばかり」とすべきであるが, 「ばかり」が使用できていない。

(34) J 「うん, あのー, お肉がじゃ好きなんですかねー」

L 「お肉はね, 前はアメリカで, ぜんぜん, 肉肉肉でした, でも今, あまりない, たぶんスキヤキだけ, だいたい魚とか, 卵, とか, 野菜, とか, たくさんごはん, うん, 果物」【正用 前はアメリカで肉ばかり食べていました】

(KY コーパス (英語話者, 中級-上, EIH03))

(35)の下線部「何回何回」も, とりたて助詞「も」を付与して「何回も」とすべきであるが, 使用できていない。

(35) J 「うーん。漢字ねー。今、漢字を勉強するときに、どんなふうにして勉強してますかー。」

L 「あのー、漢字、を勉強するときに、あの、あの、何回何回同じ漢字を書きます。(J「うーん」)そして、あの、あー、その書く間に、あの、その漢字は、どの、どんな、あ、絵、に、(J「うーん」)、あ、のようですか (J「うーん」) あ、ということについて考えて、その絵は、その意味はどんな関係があるかどうか、という、しょ、あ、そのもう一回やります。【正用 何回も同じ漢字を書きます】 (インタビュー形式による日本語会話データベース (英語話者, 中級-下, AC))

さらに, (36)の「少しわかります」は, とりたて助詞「しか」を使用して「少ししかわかりません」とすべきであるが, 使用できていない。

(36) J 「あっテレビ見ないんですか」

L 「うーんはい、(J「あーそうですか、ははははは」) うんー、んーちゅご、うんにほんーごー、今ー、少ーしわ

かりまっすー、(J「うん」) から、んー夜は、んーテレビ、見ないーです、(J「ん、あっそうですか」) 【正用 少ししかわかりません】 (KY コーパス (中国語話者, 中級-下, CIL01)

そして、(37)の「二人で限られています」も、とりたて助詞「だけ」を使用して「二人だけです」とすべきであるが、使用できていない。

(37) J 「ああ、そうですか。あなたのお子さん (J「はい」) いらしたんですか。」

L 「あ、いませんでした。そういうわけ、(J「うん」) あの、え、養子をしました。」

J 「あ、いなくて、(J「はい」) もらって (J「はい」) それで他には、あの、あなただけ一人育てられたんですか。」

L 「あ、双子、双子と一緒にあの養女になりました。」

J 「双子。双子ってふた...。」

L 「ほんとの双子。ほんとのふた。」

J 「ほんとの双子っていう。」

L 「姉か妹、わからない、あの、／誰が先に (J「あ、生まれたか。あ、ああ、ああ、ああ」) あの生まれたかはわかりませんので。」

J 「じゃ、あなたも、もらわれていったし、もう、あと二人...その双子の人ももらわれて、そのご家庭は3人の子供さんを養女にした、ということ。」

L 「あ、あの、二人、で、限、れてます。／限られています。」

J 「あ、二人だけ。」

L 「はい。」 【正用 二人だけです】 (インタビュー形式による日本語会話データベース (デンマーク語話者, 中級-中, NJ)

5.4 とりたて助詞の位置が不適切である

学習者は、とりたて助詞がとりたてる範囲を考えずに不適切な位置でとりたて助詞を使用することがある。

たとえば、(38) はボーリングの話題だが、「正面のピンだけは倒れない」とすべきところを「正面だけのピンは」と表現して誤用となっている。

- (38) 「そうですね、あまり、弱くないの、あの、あまり弱かったら、なんかあの、スピートないと、うん、倒れないですよ、でもスピード速かったら、なんかあの、正面だけのピンは (笑) となりののは、あの、倒れないですね、ですから、ちょっと、あの、ボールをま、曲がして、あの何かその、破壊力、ボールの破壊力、大きくして、そのピン、全部倒れます。」【正用 正面のピンだけは】(KY コーパス (中国語話者, 上級, CA02))

日本語では、「だけ」は限定してとりたてる要素のすぐ後ろに置くのが普通だが、中国語では「だけ」を意味する「只有」はとりたてる要素の前に置かれる。(38)の斜字の太字部分を中国語に翻訳すると(39)a.のようになり、(39)b.はその下線部を詳しく示したものである。この文脈では「だけ」で限定されるのは「正面のピン」なので、「正面のピンだけ」と修正しなければならない。

- (39)a. 但是速度太快的话, 就只有正前方的瓶子会倒, 旁边的瓶子都不会。(スピードが速かったら、正面のピンだけは倒れるが、となりのピンは倒れない。)

- b. 就 只有 正前方的瓶子 会倒
ただ だけ 正面 の ピンは 倒れる
正面だけのピンは倒れる

(40)も同様に「だけ」の位置が正しくないために不自然になっている。(40)では「だけ」は「家庭のこと」の後ろに置かなければならない。

- (40) L 「ええと、昔の女性は、あの、学問を得てはいけないんですね、(J「はあ、なるほど」)で、ですから、女性は全く、

あの、全盲 (J「ええええ」) と申しますか、あの、できれば、
(J「ええ」) それは家庭だけのことに尽くせれば、(J「うん」) 一番素晴らしい人生であると、(J「はあ」) 昔から評価されていますので、(J「あーそうですか」) はい。」【正用家庭のことだけ】(KY コーパス (中国語話者, 超級, CS03))

6. まとめ

この論文では、学習者のとりたて助詞について以下のことを明らかにした。

- (41) 初級の学習者はとりたて助詞の使用頻度が低いが、中級、上級、超級になるにつれて、使用頻度が高くなる。そして、中国語を母語とする学習者は使用頻度が高いが英語を母語とする学習者は使用頻度が低い。
- (42) 学習者がもっともよく使うとりたて助詞は「も」と「だけ」である。
- (43) 学習者は「名詞+だけだ」を多用するが、母語話者は「動詞+だけだ」を多用する。
- (44) 学習者が多用する「名詞+だけだ」には、数量語に付く「だけだ」が多い。「だけだ」は「1本」や「3年」など個数や量などを表す名詞には直接付けることができるが、「係長」のような主語の性質を規定する名詞の場合には、名詞に「だ」を付けて「名詞+な」となった名詞述語に「だけだ」を付けなければならない。学習者はこのタイプの「[名詞+な]+だけだ」の不使用の問題がある。数量語は主語の性質を規定する場合と個数や量を表す場合があり、学習者はこれを混同しやすいため「数量語+だけだ」の誤用が多い。
- (45) 学習者のとりたて助詞の習得の問題として以下の4点がある。
 - a. 「だけ」「しか」など似た意味のとりたて助詞を混同する。
 - b. 不必要なとりたて助詞を使用する。

- c. とりたて助詞が必要なところで使用できていない。
- d. とりたて助詞の位置が不適切である。

調査資料

KYコーパス：KYコーパスとは、日本語学習者に対する OPI のデータを文字化した言語データ（代表：鎌田修・山内博之）である。学習者の母語は、英語 30 人、韓国語 30 人、中国語 30 人である。

「インタビュー形式による日本語会話データベース」とは、「インタビュー形式による日本語会話データベース」（『じんこんもん DATABASE vol. 1』（重点領域『人文科学とコンピュータ』総括班（代表：上村隆一）（1998））のことで、学習者、および、母語話者に対する OPI のデータを文字化した言語データである。学習者の母語は、英語 28 人、韓国語 10 人、中国語 4 人、その他ロシア語、デンマーク語、ドイツ語が各 2 人ずつである。

小説・新聞の日本語データはすべて「現代書き言葉均衡コーパス」（国立国語研究所）から抽出した。

参考文献

蔡薰婕（2017）「スケール構造を用いた程度修飾・数量修飾の分析」『日本語の研究』13-2, pp. 18-34, 日本語学会.

澤田美恵子（2007）『現代日本語における「とりたて助詞」の研究』くろしお出版.

鈴木重幸（1972）『日本語文法・形態論』むぎ書房.

高橋太郎・金子尚一・金田章宏・齋美智子・鈴木泰・須田淳一・松本泰丈（2005）『日本語の文法』ひつじ書房.

寺村秀夫（1991）『日本語のシンタクスと意味Ⅲ』くろしお出版.

中西久実子（2006）「日本語学習者はとりたて助詞の何を習得すべきか—談話データにおけるとりたて助詞の誤用の実態調査から—」『無差』13, pp. 53-64, 京都外国語大学日本語学科.

中西久実子（2007a）「日本語学習者のとりたて助詞「でも」の不使用の実態——主題をとりたてる例示の「でも」——」『日本學刊』11, pp. 5-20, 香港日本語教

育研究会.

中西久実子 (2008) 『現代日本語におけるとりたて助詞の使用実態と日本語学習者の習得』大阪府立大学大学院人間文化科学研究科博士学位論文.

中西久実子 (2010) 「日本語学習者・日本語母語話者のとりたて助詞の使用実態」『計量国語学』27-7, pp. 270-282, 計量日本語学会.

中西久実子 (2012) 『現代日本語のとりたて助詞と習得』ひつじ書房.

中西久実子 (2014) 「「名詞+だけだ」が不自然になる原因—「弟は10歳だけだ」はなぜ不自然なのか—」『日本語教育』159, pp. 17-29, 日本語教育学会.

中西久実子 (2018 予定) 「なぜ「数量語+だけだ」は不自然になりやすいのか」『国立国語研究所論集』14, pp. 193-207, 国立国語研究所.

日本語記述文法研究会 (2009) 『現代日本語文法 5 第9部とりたて・第10部主題』くろしお出版.

日本国語大辞典第二版編集委員会 (編) (2001) 『日本国語大辞典』第二版 第十巻, 小学館.

沼田善子 (2000) 「とりたて」金水敏・工藤真由美・沼田善子 (著) 『時・否定と取り立て』pp. 151-216, 岩波書店.

沼田善子 (2009) 『現代日本語とりたて詞の研究』ひつじ書房.

野田尚史 (2007) 「日本語非母語話者の日本語とりたて助詞の不使用」中西久実子 (編) 『主題・とりたてに関する非母語話者と母語話者の運用能力の対照研究』(平成15年度～平成18年度科学研究費補助金基盤研究(C)(1)研究成果報告書) 付録DVD-R「会話文字化資料・映像資料」pp. 53-70.

水谷信子 (1985) 『日英比較 話しことばの文法』くろしお出版.

森本順子 (1992) 「誤用研究ノート—「だけだ」を中心として—」藤森ことばの会 (編) 『藤森ことば論集』pp. 37-61, 清文堂.